年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　令和４年　５　月　３１　日
● 事　業　名　：　台風 19 号災害被災者への伴走型支援事業
● 資金分配団体　：　ジャパンプラットフォーム
● 実 行 団 体　：　共生地域創造財団
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☐有　☑無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況
支援制度をまとめた簡易リーフレットの作成と配布	・支援制度まとめリーフレットの発行回数 ・支援制度まとめリーフレットの配布数	・発行数：３回/年 ・配布数：８０枚/回（被災世帯数＋α	２１年３月	・発行回数：４回 ・発行部数：300 枚/回（田の浜地区全世帯） ・財団支援内容案内発行：各 300 枚／２回	4 完了
制度や再建にかかる補助金等についてのアウトリーチ（戸別訪問）、相談会開催	・相談会の開催回数 ・相談会の参加人数	・月２回の戸別訪問 ・相談会の開催：３回/年 ・相談会の参加者：各３名	２１年４月	・戸別訪問：81 世帯へ 182 回 ・相談会の開催数：２回 ・相談会の参加者：延	4 完了

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況
				べ１３名 ※相談会ではシビアな相談がしづらいとの声を受けて、個別相談に切り替え ・個別相談対応数：73 世帯 508 回 ・2021 年 12 月の津波の際にも各 81 世帯へ訪問し被災の有無を確認 ・2022 年 2 月、3 月の地震の際にも各 81 世帯へ訪問し被災の有無を確認	
買い物代行サービスの実施と地域企業（スーパー等）への働きかけ	・代行サービスの実施回数 ・代行サービス利用者数	・実施回数：２回／月 ・利用者数：のべ１５名／月 ・住民による自立運営化	買い物支援実施：２２年３月 企業連携：	・実施回数：平均 9 回／月 ・利用者数：平均のべ 24 名／月 ・賛同企業：５企業	2

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況
	・代行サービスに賛同、協同する企業数		２３年３月		
コミュニティ農園の実施	・参加者数 ・実施数（箇所）	・開催：２回／月 ・参加者数／のべ１５名／月 ・実施箇所：田の浜地内３箇所	２３年３月	・開催：平均 16 回／月 ・参加者数：平均 56.1 名 ・実施箇所（拠点）：2 箇所	2
コミュニティ形成を目的とした地域イベント等の開催	・地域イベントの開催数 ・参加者数 ・住民共催のイベント開催数	・開催回数：２回／年 ・参加者数：各５６０世帯	２３年３月	・（農園で収穫した野菜を販売する）朝市開催 10 回（２箇所） ・上記来場者：８０世帯（周知チラシ配布は３００世帯に配布） ・他イベント開催：10 回	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
買い物代行・送迎支援の利用者は延べ２８８名が利用しました。２０年度はコロナ感染症の予防から買い物代行支援のみを行ってきましたが２１年度にはワクチン接種も進んだため代行支援と併せ送迎支援も行ったため利用者が増えました。また、一人での申し込みではなく、お友達との複数での申し込みが増えています。利用された方からは、移動費の軽減だけではなく計画的に買い物をするため食品ロスが減ったことや、スタッフや知人と買い物することで昨今の価格の高騰や旬の食材を使ったレシピなどの情報交換をすることで価格や旬の食材などを吟味し意識的に料理を作るようになったと話されています。また、ご協力いただいた地元スーパーからは民間企業と支援団体、行政とが一体になり社会課題の解消に向けて取り組んでいきたいとお話があり、地元企業と行政との連携会議に財団も参加しました。 コミュニティ支援については、２０年度には住民有志と育てた野菜で収穫祭を催しました。しかし、参加者からは自分たちが楽しむためだけではなく、より多くの人が関り楽しむことで高齢化が進む田の浜の地域を活性化させたいとの相談があり、２１年度は収穫した野菜を朝市で販売することとなった。農園参加者は延べ５６１名となり、１０回開催した朝市には毎８０人ほどが集まり賑わいを見せました。そのほか１２回のサロン活動を行い計１１０名が参加されました。朝市の野菜販売は、有志の会のリーダーが価格設定や収益管理を行い年度末には有志の会で物品を購入し分配する様子が見られました。 最終年度には買い物支援の仕組みを創出し、住民による運営管理が可能な体制を整えます。また、現在の農園に加えて今回の災害の原因のひとつとなった堤防に農地を拡大し、高齢者の役割創出と収入アップ（小遣い稼ぎ）の一助となればと考えます。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

集会施設の利用基準（岩手県基準）に則り施設を利用。また、可能な限り屋外での活動を中心に行いました。 買い物支援については、車両の乗車最大数の半数を目安に乗り合わせながら、常時換気を行い支援に取り組みました。

② 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　　☐広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☑その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：農園で作成した小屋等に貼り付けし表示
2. 広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 2.広報制作物等 財団ニュースレター（4 回／年） 財団１０年史冊子 3.報告書等 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

④規程類の整備に関する報告

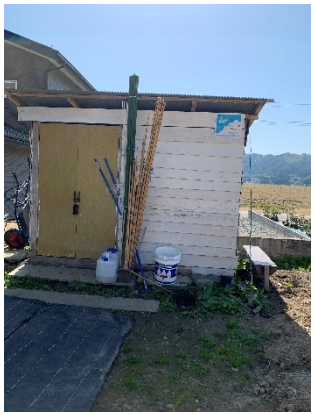
1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☐完了　　☑整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。

☐全て公開した　☑一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：理事会により可決されたものを順次公開している
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：現在準備中のため

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☐内部監査を実施　　☑外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）